

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「マカーセッド慈善病院医療設備再整備計画」  
医療機材供与式典（オンライン）

2021年12月6日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「マカーセッド慈善病院医療設備再整備計画」のための医療機材供与式典がオンラインで実施され、嶋崎駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、2014年の創設以来、国籍にかかわらず、経済的に困難な状況にあるヨルダン国内の人々に対し、低価格にて救急医療を含む総合医療サービスを提供してきた実績のあるマカーセッド慈善病院へ心エコー機能付き超音波診断装置1台及び医療用ベッド20台を再整備することにより、難民をはじめとする貧困層住民への医療サービスの質の向上に寄与し、全ての人が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」の実現に貢献することが期待されます。

同式典では嶋崎大使から、本支援によりマカーセッド慈善病院における医療サービスが一層強化されることを期待する旨発言があり、また、同病院から動画やバーチャル・ツアーによる病院・供与機材の紹介がなされました。アリー・アル・サアド・マカーセッド慈善病院事務局長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

供与機材の紹介



記念撮影（嶋崎大使:左上、アリー事務局長：中央下）

